

個人線量計（ガラスバッジ）についての Q & A 集

平成24年9月

ガラスバッジに関する福島市への問合せ先

健康福祉部保健福祉センター 放射線健康管理室（TEL 5 2 5 - 7 6 8 1）

教育委員会事務局 保健体育課（TEL 5 2 5 - 3 7 8 6）

健康福祉部 児童福祉課（TEL 5 2 5 - 3 7 5 0）

健康福祉部 障がい福祉課（TEL 5 2 5 - 3 7 4 8）

■ ガラスバッジについて

Q1 ガラスバッジとは何ですか。

（答え）

- ・ 個人が受けた放射線の量（外部被ばく量）を測定し、個人線量を算定するために特に装着用に作られた小型の線量計です。
- ・ ガラスバッジ本体にスイッチはなく、配付から回収までガラスバッジ本体が放射線量を測定します。

Q2 ガラスバッジ本体に数値は表示されますか。

（答え）

- ・ ガラスバッジ本体には、放射線量の数値は表示されません。
委託業者が測定値を分析したら、保護者あてに数値をご通知します。

Q3 雨など水にぬれたり、誤って洗濯してしまった場合は大丈夫ですか。

（答え）

- ・ 大丈夫です。ティッシュ等で拭いて自然乾燥させて、そのままお使いください。
（急激な加熱乾燥はさけてください。）
- ・ わざと水に浸けるようなことは避けてください。

Q4 誤って落としたり、踏んでしまった場合（破損が確認できない場合）はそのまま使用しても大丈夫ですか。

（答え）

- ・ そのまま使用しても大丈夫です。

Q5 乳幼児等が誤ってなめたり、着用することによる体への影響はありませんか。

（答え）

- ・ 有害な物質は使用しておりませんので、体への影響はありません。

■ ガラスバッジの装着について

Q6 常に24時間身に付けておくのですか。

(答え)

- ・胸等に付けていただくことが前提です。ただし屋内にいるときは、同じ屋内の一定の場所（自分のかばんなどにつけて）に保管してもかまいません。
- ・水泳やお風呂の際は、はずして同じ屋内に保管してください。

Q7 ガラスバッジを付けるのを1日（外出時等）忘れてしまった。正確な測定ができなくなりますか。

(答え)

- ・忘れずに胸等に付けていただくことが前提ですが、通常の行動・生活においては1日程度の無着用ということであれば、長期間の測定において大きな誤差は出ないと考えられます。できるだけ着け忘れには注意してください。

Q8 乳幼児等がガラスバッジを1日中付けるのは難しいので親が持っていてもよいですか。

(答え)

- ・お子様とほぼ同じ行動をとられるのであれば、大きな誤差は生まれないと考えられます。そのため、お子様の状況によって各自ご判断いただいて結構です。

Q9 ビニールケース式ホルダーに入れるのはなぜですか。

(答え)

- ・ガラスバッジ自体の汚れを防止するためです。
ガラスバッジ自体に張ってあるラベルのカナ表記の名前やバーコードで個人の識別をしており、ラベルが汚れたり剥がれたりすると、個人の識別がしにくくなります。使用中はホルダーから取り出さないようにしてください。

Q10 ビニールケース式ホルダーに入れて首から下げるのは危険ではないですか。

(答え)

- ・ビニールケース式ホルダーは、負荷がかかったときに外れる仕組みとなっておりますが、首に絡んで絞めることのないよう細心のご注意をお願いします。
- ・できれば、衣服の内側に入れて使用することをお勧めします。

Q11 かばんに入れたり、ホルダーに代わるものに入れてもよいですか。

(答え)

- ・ガラスバッジは主に透過力の強いガンマ線を測定するため、かばんに入れても大丈夫ですが、ホルダーはお届けしたものをお使いください。

Q12 運動時に邪魔になる場合はどうしたらいいですか。

(答え)

- ・同じ運動場所（屋外も屋内も）の適切な線量が測定できる場所に保管してかまいません。
- ・屋外で保管する場合は、直接地面の上や芝などの上には置かないようにしてください。

■ガラスバッジを紛失したとき

Q13 ガラスバッジを紛失、破損した場合はどうなりますか。

(答え)

- ・万が一紛失、破損した場合、測定できなくなってしまいます。原則として、再交付はできませんのでご注意ください。
- ・ガラスバッジは貸与品（レンタル）です。故意による破損などが認められるときは、弁済料をお支払いいただく場合があります。
- ・なお、紛失、破損した場合は、福島市放射線健康管理室（525-7681）にご連絡ください。

Q14 ビニールケース式ホルダーを紛失した場合はどうなりますか。

(答え)

- ・万が一紛失した場合は、代替りのホルダーはご準備できませんので、ご了承ください。ただし、ガラスバッジのみの装着は避けていただききたいので、ビニールケース式ホルダーに代わるものを各自ご準備いただきご使用くださるようお願いいたします。

■その他

Q15 生活日誌の記載は必要ないですか。

(答え)

- ・測定結果の分析の参考とするため昨年は記載をお願いしましたが、記入が負担である等の意見が多かったため、今年については提出を求めません。ただし、市外での活動や旅行など通常の生活と異なる行動があった場合は、記録をとっておくことをお勧めいたします。